

2016年
10月29日
(土)

講演会テーマは 「公立文化施設が目指す目標と実態の狭間」

公立文化施設は、多種多様な催しを通じて、「人が集まる」という公共空間のある意味原点が垣間見える空間である。そうした性格を持つ場所としての歴史を、現代に至るまで、日本の文化施設は重ねてきた。

しかし、日本の公立文化施設は、多目的性やソフトの不在等が問題とされることが多い一方で、地域において人が集う場としての機能は正当に評価されているとはいえないのではないだろうか。

公立文化施設は、他機関とも連携しながら、芸術文化を中心に地域課題にも関わる多様な実践に取り組むことで、地域における集いの場、にぎわいの空間となる可能性を有している。地域に多様な課題が山積する現在、社会包摂機能等に注目した実践に関する今回の報告から、その可能性を展望したい。(モデレーター：新藤浩伸 / 東京大学准教授)

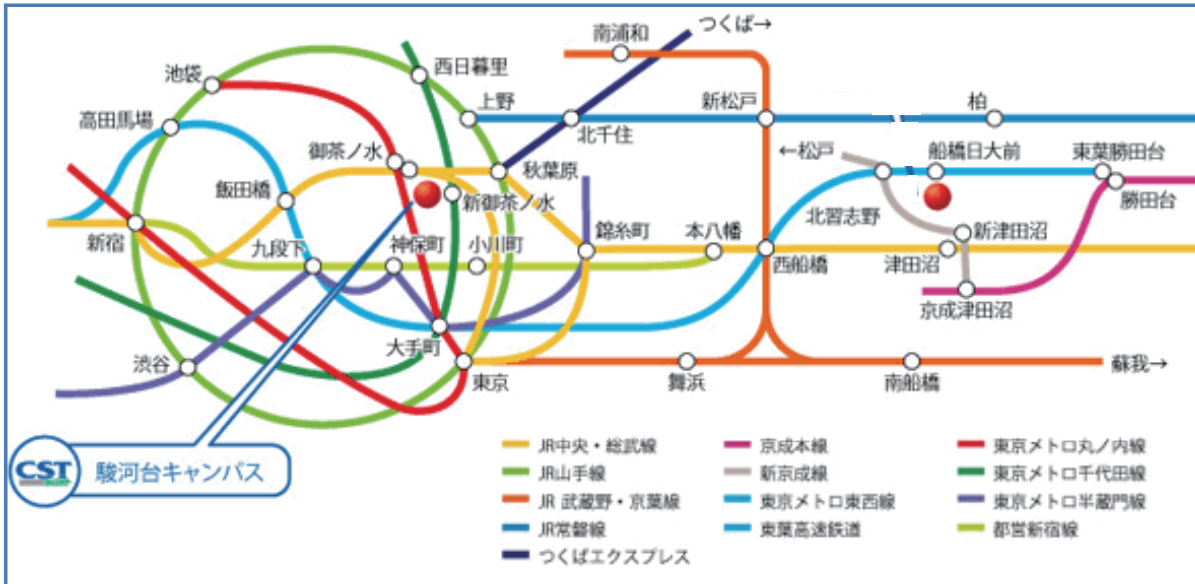
1. 日 程 2016年10月29日(土) 14:30～17:30 講演会
18:00～19:30 懇親会(下記学内のカフェテリア)
2. 会 場 日本大学工学部1号館131教室(3階)
住 所 東京都千代田区神田駿河台1-8-14
会場URL <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/access.html>
最寄り駅 JR「御茶ノ水駅」、地下鉄「御茶ノ水駅」「新御茶ノ水駅」など
3. 参加費(予定) 一般：1000円、学生：500円(懇親会別途：3000円)
4. 講演会の内容
 - 4-1. モデレーターによる趣旨説明 新藤浩伸(東京大学准教授)
 - 4-2. 「公立文化施設の経営実態と課題」高島知佐子(静岡文化芸術大学准教授)
 - 4-3. 「社会機関としての公立文化施設」水戸雅彦(えずこホール/仙南芸術文化センター館長)
 - 4-4. 「文化政策と指定管理者制度の関係から考える」真田弘彦(りゅーとぴあ/新潟市民芸術文化会館副支配人兼事業企画部長)
 - 4-5. パネルディスカッション 高島知佐子、水戸雅彦、真田弘彦、新藤浩伸
5. 懇親会 会 場：日本大学工学部1号館カフェテリア(講演会場と同一建物内の2階)
住 所：東京都千代田区神田駿河台1-8-14
参加費：3000円
幹 事：本杉省三 03-3251-0717、佐藤慎也 03-3259-0701(日本大学工学部)

<会場アクセス>

所在地 〒101-8308 京都千代田区神田駿河台 1-8-14

日本大学理工学部 1号館 131教室 (3階)

- 【交通】 JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 下車徒歩3分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩3分
- 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩5分



<キャンパス案内> 日本大学理工学部 (駿河台キャンパス)

